

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/01/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.07	0.13
JPY/THB	0.2407	-0.0012
USD/JPY	145.76	1.28
EUR/THB	38.49	0.30
EUR/USD	1.0973	0.0042
USD/CNH	7.183	-0.001
SGD/THB	26.34	0.10
AUD/THB	23.51	0.14
USD/INR	83.04	-0.08
USD Index	102.36	-0.21

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.397	-0.043
10Y (THB)	2.719	-0.035
5Y (USD)	3.974	0.004
10Y (USD)	4.028	0.015

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,027.8	-5.2
WTI (Oil)	71.37	-0.87
Copper	8,370.5	1.0

Stock

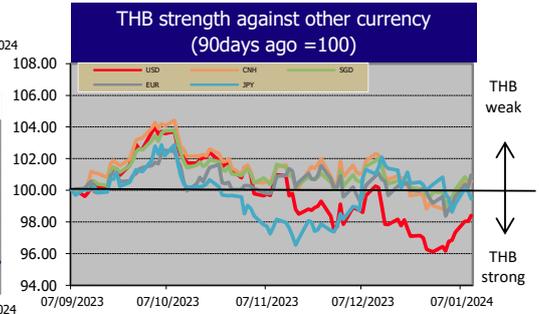
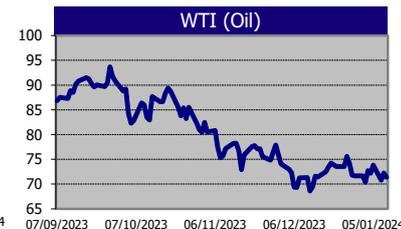
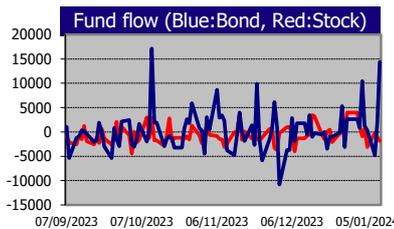
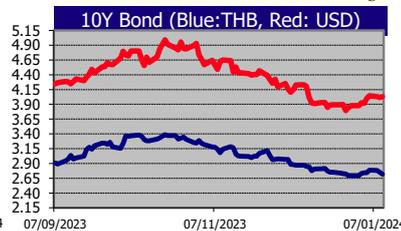
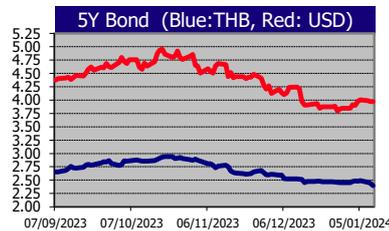
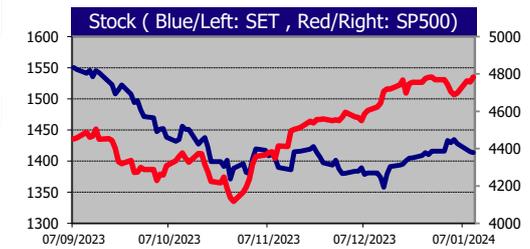
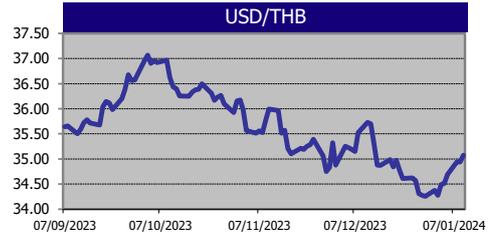
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,413.52	-1.41
NIKKEI (JP)	34,441.72	678.54
DOW (US)	37,695.73	170.57
S&P500 (US)	4,783.45	26.95
SHCOMP (CN)	2,877.70	-15.55
DAX(GER)	16,689.81	1.45

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,828)	-822.1
Bond net flow	14,361	12576.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅上昇。34パーツ台後半で取引を開始。セーター・タイ首相より年始から政策金利引き下げ検討要請発言が確認される中、タイ中銀は15日(月)の午前10時から金融政策の説明会を開催すると発表。これを受けてドルパーツは35パーツ台前半まで上昇したものの、その後行われたセーター首相とセタプット・タイ中銀総裁との会談にて「セーター首相から高金利の経済への影響に係る説明があったものの、セタプット総裁からは特段の反応は見られなかった」、等の報道が確認される中、ドルパーツは水準を34パーツ台後半まで戻し、往つてこの展開に。ただ、海外時間に入ると、米金利の上昇を背景にドルパーツは底堅い推移となり、じりじりと35パーツ台前半まで上昇。そのまま35.07レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。144円半ば付近で取引を開始すると、前日海外時間の円安基調の継続や、日経平均株価が約34年ぶりの高値水準での推移となったこと、厚生労働省から発表された毎月勤労統計にて実質賃金が20か月連続でのマイナスが確認され、日銀の早期利上げ観測が後退したこと等の要因が相俟って円売り地合いが継続。海外時間には米金利の上昇もあり、ドル円は145.76円台後半まで上昇。結局145.76レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

足許では相変わらずの円の弱さに加え、タイパーツの軟調ぶりも目立つ。円は、年始の震災とそれに伴う1月の日銀政策修正観測の後退、そして日本株が好調な中で円キャリー取引が戻りつつあること等が背景で、タイパーツについては、セーター首相がタイ中銀に対して利下げの検討を要請しているとの報道が主な要因だろう。米金融政策や中国経済等の外部要因に振られる展開が多いタイパーツだが、俄かに国内の金融政策動向にも注目が集まり始めた。そのような中、タイ中銀は、昨日のセーター首相とセタプット総裁の会談前に、来週月曜10時に方針について説明する場を設けると発表した。タイの政策金利については当面高止まりというのが市場のコンセンサスだけに、本会見で何が打ち出されるのか留意したい。他方、本日の相場の材料としては米国時間に発表される米12月CPIが最重要指標。結果によって市場が織り込む米利下げ確率が大きく変わることはないかもしれないが、今年一年の米金融政策を押し量る一つの材料にはなりえる。また、日本では日銀支店長会議が本日予定されているが、今回の会議は地方の物価や賃金上昇の持続力を見極める上で植田総裁が重視しているとの報道もあるため、その報告内容に注目したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.